

東京の元気な社長さん

少数精銳のスピードを武器にデジタルを超越したアナログ文化を創造

vol.28



「アナログでとらえた商品や事業こそ、マーケットで永く生き続ける」と細貝和則社長。

災害時に掲示板として重宝されたアイデア商品

東日本大震災直後の通信網が遮断された避難所。家族の安否を求める人々の想いが書き込まれた壁一面を覆う掲示板。当時、少なからぬ人がこの光景を目にしたであろう。この情報のやり取りは、とある中小企業の商品が支えていた。それが光和インターナショナルの「コーフライティングシート」だ。

「平面さえあれば静電気の力で簡単に貼り付けられ、何度も書き消しが可能です。一度剥

がしても繰り返し貼れるので、移動や保管も簡単で、ホワイトボードのようにスペースを気にする必要もありません」と、同社の細貝和則社長は商品の特性を語る。避難所に限らず救助にあたる自衛隊や病院など、大量の情報の集約が必要な様々な場所で大活躍した実績が評判を呼び、画鋲や糊が使えない工事現場、企業の会議・研修での使用のほか、昨年末には東京消防庁管轄の全消防署に納品されるなど災害備蓄品としても注目を集めている。

ありそうでなかつたこの「アナログ」な商品を開発した細貝社長、意外なことに大手一丁企業から50歳で独立し起業した門外漢だ。

「商品開発で重要なことは、常にマーケット目線で物事を想像し、いかに商品の良さを理解してもらうかということ。一目でその良さが伝わるアナログ商品は非常に有効です」と細貝社長は語る。コーフライティングシートも、雑談や宴会でアイデアを記録する場所がない、という社長の実体験からマーケットの潜在ニーズを確信し、開発を決意したものだった。

仕組みはポリプロピレンの膜に静電気を閉じ込めるというシンプルな発想だが、門外漢ゆえに当初は苦労も多かった。「最初の完成品は機能の成熟度でいえば現在の商品の半分。しかし、まずはリリースして、マーケットの声から改善を重ねていきました。少数精銳のスピードを武器に、マーケット目線の商品を提供し信頼を得ていく。これが中小企業としての当社の戦略なのです」

社長が次に照準を合わせているマーケットは教育現場だ。「創造力を育むための『書き込む』という機会を、デジタル化が奪っています。私はアナログでそれに替わる文化の創造に挑戦したいのです」との想いから、子ども向けに改良した「ピタッ」と and かきげしくとも」も発売した。「すでに都内のある区では導入が進み、教育現場からも好評を頂いています」(細貝社長)

アナログな新発想でデジタルを超えた文化を創造する。中小企業ならではの新たな可能性を切り拓く細貝社長の挑戦は、まだ始まつたばかりだ。



コーフライティングシートは、レギュラー、子ども向けのハーフ、要望に応えた大判の3サイズがある。

株式会社 光和インターナショナル

代表者 細貝 和則
所在地 港区西新橋3-23-5 御成門郵船ビル12F
URL www.kowacorp.jp

T.G.Focus では登場企業を募集しています。希望される方は、企画部広報課までどうぞ。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

編後



表紙企業紹介

東駒スポーツ用品株式会社
野球グローブ製造販売
所在地 墨田区横網2-4-2
TEL 03-3623-6235

当協会のメールマガジンに登録していただいた方には、いち早く「オススメ情報」をお届けします。経営に関する無料講座の受講募集など、たくさんのお役立ち情報満載。当協会ホームページよりご登録ください!!

